

FiNE-LINK PLUSを活用した 情報共有について

R7.7.9 「新見地域在宅医療支援システム研究会」

高梁市 健康福祉部 高齢者支援課
地域包括支援センター 倉橋

高梁市の概要

(令和7年3月末現在)

人口：25,722人

65歳以上人口：11,292人

男性 4,837人

女性 6,455人

高齢化率：43.90%

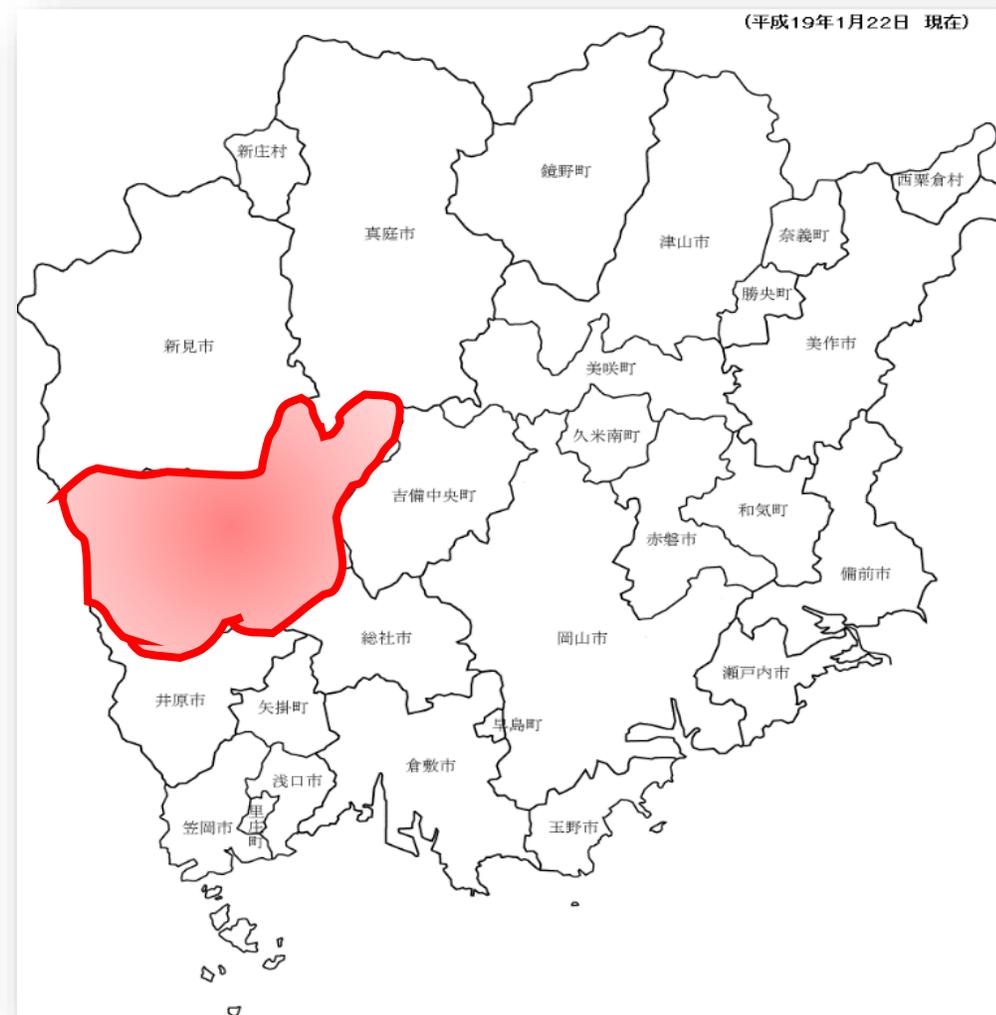
面積：547.01km²

介護事業所等数 91

医療機関数 19 (付属診療所含)

薬局数 10

医師会数 1



ケアキャビネットを活用した情報共有

- ・2014年度（平成26年度）より運用を開始。

→患者情報の共有を行っていたものの、一部の利用にとどまる。

- ・2022年度（令和4年度）いっぱい「一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会」が解散する事もあり、新たな情報共有ツールの検討を始める。

→神戸市で利用実績のある「(株)AGEN FINE-LINK+事業部」から、「ラインワークス」を活用した情報共有ツールについての提案

- ・2023年度（令和5年度）において、「ラインワークス」の仮運用を開始。

→40事業所40IDでスタート

→並行して「ケアキャビネット」の利用も継続。

「ラインワークス」の仮運用を踏まえ、情報共有ツールとして有益なものであると判断されたため、2023年度いっぱい「ケアキャビネット」運用の廃止を決定した。

導入に至るまでの経過

- ・在宅医療・介護連携推進協議会 実務部会にて運用ルールの確認・検証を行う。
- ・検証結果について、在宅医療・介護連携推進協議会（通称：親の会）にて、承認をもらう形で導入を進める。
- ・令和6年度 87事業所113IDでスタート → 98事業所127IDで運用中（R7.5末）

在宅医療・介護連携推進協議会について

- メンバー 医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護支援専門員協会、法人連絡会、看護協会、栄養士会、リハネット、実務者部会、大学、保健所、かngoネット、消防本部
- 重点目標
 - ・医療と介護の関係者が協働・連携を図り、在宅医療と介護を一体的に提供できる。
 - ・ICTの利活用によって、業務の効率化や多職種間の連携を図ることができる。
 - ・人生の最終段階における望む場所での看取りを行えるように、医療・介護関係者が、対象者本人と人生の最終段階における意思を共有し、それを実現できるように支援できる。

在宅医療・介護連携推進協議会 実務者部会について

○メンバー 医療介護現場で働く実務者で組織

病院地域連携室、ケアマネ、小規模多機能職員、理学療法士、
訪問看護、デイ職員、ヘルパー、栄養士、薬剤師、かngoネット、
保健所

- 重点目標
- ・現場の声から抽出した優先課題の協議と解決を目指す。
 - ・課題解決への取組を通して多職種連携の強化と各職種の資質向上を図る。

運用ルール①

1. 今まで電話、メール、FAX等で情報伝達、情報共有していた情報等で、FiNE-LINK PLUSが活用可能な場合は優先して使用する。

(使用例)

- ① サービス担当者会議、退院前カンファレンス等の日程調整
- ② サービス担当者会議、退院前カンファレンス等のリモート参加
- ③ 受診の結果、入院中の様子、サービス利用中の様子等の共有
- ④ 高梁版情報共有書、ケアプラン、給付実績票等の送信
- ⑤ 業務上における問い合わせ

2. チャット機能等で発信する場合は、宛先と差出人を入力することとする。

運用ルール②

3. 個人情報の取り扱いは、各医療機関、介護事業所等の規定等における本人または家族からの同意のもと運用する。万一、人的要因でのミスや端末紛失等により漏洩が生じた場合は、各法人の責任とする。

4. 個人情報を複数の関係者で連携する場合は、最初に情報連携をしようとする者がグループ登録し、その後必要に応じて当該関係者間で招待し合う。グループ名は利用対象者名とする。グループを作成した者が不要と判断した時は、グループを削除するものとする。

5. FiNE-LINK PLUSで使用できる端末は、所属する医療機関、介護事業所等が所有するパソコン、タブレット、スマートフォン及び所属する職員個人が所有するパソコン、タブレット、スマートフォンとする。職員個人の所有する端末を使用するときは、パスワード機能を活用する。

運用ルール③

6. 取得した I D は同一の医療機関、介護事業所内での使用とする。I D を付与された職員（ケアマネジャー等）の異動があった場合は、速やかに高梁市地域包括支援センターへ申告する。

7. 取り扱う情報は、FiNE-LINK PLUS 専用の I D 間での活用に限る。ただし、各医療機関、介護事業所等が連絡手段として、本人または家族限定によりやり取りすることは可能とする。

8. 業務稼働日、業務時間内での運用に努める。

9. 1日1回以上チャット着信の有無、メッセージチェックを行う。

FiNE-LINK PLUSを活用した情報共有 (日常の療養支援)

- ・ 急がない要件について、チャットでの情報共有
- ・ サービス利用に関する実績提供票、実施報告書等のやり取り
- ・ 担当者会議の日程調整
- ・ サービス利用日の調整
- ・ 事業所空き情報の周知
- ・ 介護認定審査会の資料請求
- ・ 事業所情報等の配信

FiNE-LINK PLUSを活用した情報共有 (入退院時)

- ・ 入院中のリハビリや摂食状況を動画で情報提供
- ・ 入院中の医療処置について動画で情報提供
- ・ 入院中の様子についてチャットでの情報提供
- ・ 入院前の在宅環境の画像提供
- ・ 退院後の生活状況の画像等による情報共有
- ・ 高梁版情報共有書のやり取り
- ・ 退院カンファレンス等での活用

FiNE-LINK PLUSを活用した情報共有 (入退院時)

○高梁版入退院支援ルールより

・入院時

患者が入院してきたら、病院担当者は介護保険証や家族等からの情報提供等により、ケアマネジャー・地域包括支援センター（以下、在宅担当者）の有無を確認し、在宅担当者がある場合、高梁版情報共有書等の提出を求める。

在宅担当者は病院担当者の連絡や家族等からの情報提供等で、患者の入院を知り得た場合、高梁版情報共有書等を病院担当者へ郵送もしくは持参する。

※現状は、情報共有書はFiNE-LINK PLUSもしくはfax等でやり取りされている。

・退院時

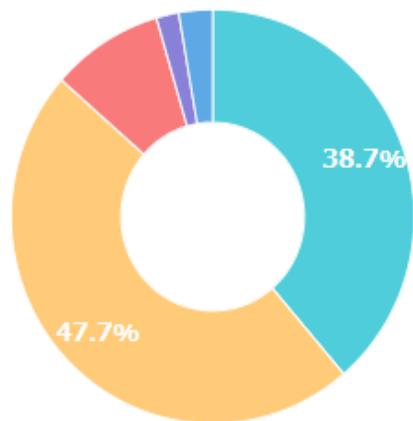
病院担当者は、高梁版情報共有書その他入院中の情報等（各施設の様式で可能）を在宅担当者に提供する。

※退院カンファレンスが開催される場合は、その際に提供されることが多い。

発信日	令和	年	月	日	あて先	添付書類
発信目的	()	発信者	所属	氏名		
高梁版情報共有書						
ふりがな	性別	生年月日	年齢	身長	体重	R年 月
氏名	年	月	日	cm	kg	
住所	TEL	()	()	()	()	()
入院日	令和	年	月	日	退院日	令和
年	月	日	(予定含)			
【かかりつけ医療機関(主治医)】			【家族等の状況】			
() (先生) () (先生) () (先生)						
【身体障害者手帳等】 ()			(キーパーソン)			
【視力】 ()			① 氏名 () 続柄 ()			
【聴力】 () 補聴器 ()			連絡先 () -			
【介護認定】 ()			② 氏名 () 続柄 ()			
保険証番号 () 負担割合 () 割			連絡先 () -			
【担当ケアマネジャー】 ()			在宅サービス利用状況			
事業所 ()	種類	事業所名	頻度・内容等			
担当者 ()						
連絡先 ()						
【施設への申し込み】 ()						
()						
【アレルギー】 ()						
【感染症】 ()						
【既往歴】いつ頃、病名、現在の状況、通院手段等						
【経過】						
【主治医の指示等】		今回入院時の診断名 ()				
医療系サービスの必要性 ()		医師名 () 記載日 (R年 月 日)				
<input type="checkbox"/> 訪問看護		<input type="checkbox"/> 訪問リハビリ		<input type="checkbox"/> 通所リハビリ		<input type="checkbox"/> 短期入所療養介護
【本人の背景】						
・性格や職歴:						
・趣味や日中の過ごし方:						
・本人や家族等の希望 ※急な入院等により直近の状況が不明の場合は、平時に把握している情報により記載						
本人)						
家族等)						
・生活環境:						
・その他:						

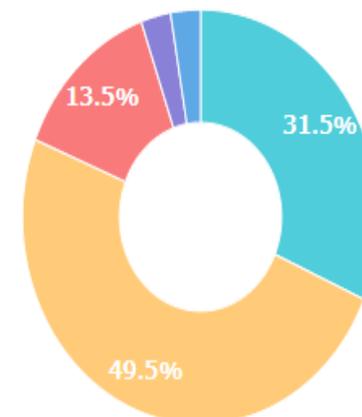
(R年 月 日現在の状況)		
ADL等	自立度	コメント(自立度の詳細について、特に伝えたいことがあれば具体的に記載)
寝返り		
起き上がり		
座位保持		
立ち上がり		
移乗		
歩行		
階段昇降		
口腔ケア		
義歯		
食事		
嚥下		
栄養内容		
トイレ動作		
尿意		
便意		
入浴		
更衣		
整容		
買い物		
洗濯		
掃除		
食事の準備		
意思疎通	HDS-R()点/30点	日常生活自立度 ()
夜間の状態	眠剤等 ()	
服薬管理		
医療処置	()	()
	()	()
【療養上の留意事項や日常生活での注意事項等】		
主治医	()	
()		
()		
()		
()		
()		
()		
()		
()		

1 FiNE-LINK PLUSを使ってみて、他の事業所等との情報共有・情報連携の機会が増えたと感じていますか。



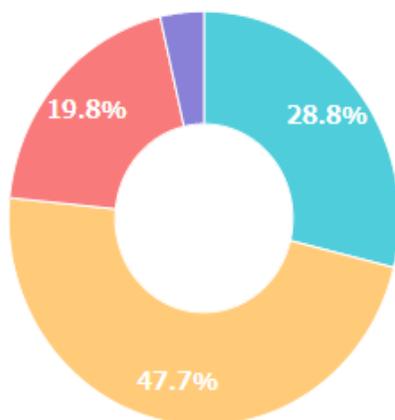
● とても感じている	43 (38.7%) >
● まあまあ感じている	53 (47.7%) >
● あまり感じていない	10 (9.0%) >
● 全く感じていない	2 (1.8%) >
● わからない	3 (2.7%) >

2 FiNE-LINK PLUSを使ってみて、業務効率が上がった、改善したと感じていますか。



● とても感じている	35 (31.5%) >
● まあまあ感じている	55 (49.5%) >
● あまり感じていない	15 (13.5%) >
● 全く感じていない	3 (2.7%) >
● わからない	3 (2.7%) >

3FiNE-LINK PLUSを使ってみて、業務上、電話・FAX・郵送の件数は減りましたか。



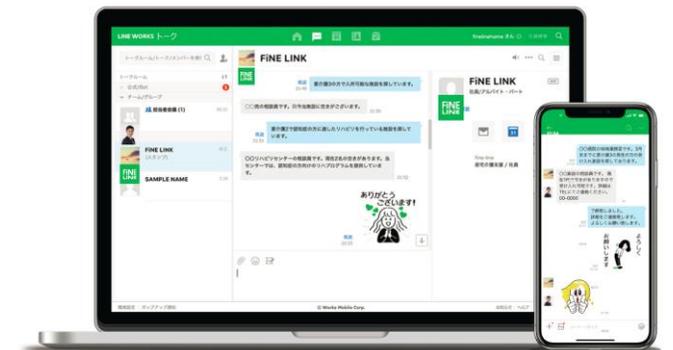
かなり減った	32 (28.8%) >
まあまあ減った	53 (47.7%) >
変わらない	22 (19.8%) >
わからない	4 (3.6%) >

4FiNE-LINK PLUSをどのように使っていますか。
(複数回答可)

1対1のメッセージのやり取り (1対1のトーク)	95 (85.6%) >
他の事業所と3人以上でのメッセージのやり取り (グループチャット・トークルーム)	41 (36.9%) >
資料、写真、動画等の情報共有	83 (74.8%) >
音声通話、ビデオ通話でのやり取り	11 (9.9%) >
地域の情報等の共有	27 (24.3%) >
アンケート	9 (8.1%) >
予定管理 (カレンダー機能)	1 (0.9%) >
タスク管理	0
その他	4 (3.6%) >

5 FiNE-LINK PLUSを使って感じているメリットは何ですか。(複数回答可)

電話の入れ違いが減った	56 (50.5%) >
会議などの日程調整に役立った	50 (45.0%) >
情報共有がスムーズになった	84 (75.7%) >
時間効率が良くなった	46 (41.4%) >
紙代や通信費削減に役立った	37 (33.3%) >
その他	9 (8.1%) >



利用してみた方の声

病院 地域連携室

- ・見てわかる動画での情報共有がすごく便利！
- ・退院後の日程調整などで毎日活用しています
- ・今後は日程調整機能を活用していきたい！
- ・よくやり取りする方はトークルームを『ピン留め』して常に上位表示しています
- ・日程調整は『アンケート機能』や院内共有として『カレンダー機能』を活用中！
- ・通所リハビリや訪問看護では提供表をデータで送ることで移動費やFAXの手間の削減！
- ・リハビリの様子や食事の様子を動画で共有！
- ・退院支援の中でケアマネさんとのやりとりをそのまま電カルに転記することで、言葉の伝えミスを防いでいます
- ・既読・未読があることで「見た」「見ていない」が分かるという点はメリット！

利用してみた方の声

病院 リハビリテーション科

- ・ 介助方法についての情報共有が便利！
- ・ 一人暮らしの方のお家の周りの状況・環境を動画で送って頂き、退院後のイメージ共有とリハビリの目標設定が明確！

薬局

- ・ 在宅患者様グループLINEを作成して、家族様からの情報とケアマネさんやヘルパーさんも文章で情報共有しています！
- ・ 調剤や服薬管理に繋げることが出来、的確な医療が実現できます！
- ・ スタッフ間や薬局間での情報共有にも便利！

利用してみた方の声

特別養護老人ホーム

- ・ ショートステイの予約などに活用しています
- ・ 提供表や実績もPDFでやり取りしています！
- ・ 退院後の動画共有も便利に活用しています

訪問看護ステーション

- ・ ケアマネさんとの日程調整などの情報共有に活用しています！
- ・ 文章で残ることで後で確認が出来る！
- ・ 提供表もPDFで送って頂いて便利！

利用してみた方の声

老人保健施設

- ・ 病院から入院中の患者様の動画を共有頂き、その動画を同法人内の通所リハビリの職員とも共有しています！
- ・ 褥瘡の様子を写真で共有しました！

訪問介護事業所

- ・ 利用者様の皮膚の様子や怪我の様子の写真を共有しています！
- ・ モニタリングや提供表をPDFで送信！
- ・ 書類提出のための役所への訪問も減りました

利用してみた方の声

訪問介護事業所

- ・利用者様の皮膚の様子や怪我の様子の写真を共有しています！
- ・モニタリングや提供表をPDFで送信！
- ・書類提出のための役所への訪問も減りました

居宅介護支援事業所

- ・非常に便利に活用しています！
- ・細かく情報が得られるがゆえに情報過多になっている気がします
- ・今後も個人情報の取り扱いやセキュリティに関しては、細心の注意が必要

など。

利用料金について

事業所負担

- ・ R6～8年度中は、事業所負担はいただかない。
- ・ R9より1IDあたり 500円/月 の負担をいただく予定。

委託料

- ・ コンサル初期費用 1事業所あたり 3,000円
- ・ 運用・サポート登録費用 1IDあたり 1,000円/月

財政措置

- ・ 地域支援事業交付金対象 単市持ち出し19.25%
(株)AGENの所有しているLINEWORKSを無償で利用をしております、それにより地域内の情報共有ネットワーク円滑化等を図っている。

ご清聴ありがとうございました。
この後は、実際にFINE-LINK PLUS
の画面をご覧ください。